

報道関係 各位

 広島経済大学  
 入試広報センター

## 平成 30 年度 興動館プロジェクト審査会を実施します

広島経済大学（学長 小谷 幸生）は、下記の日程で興動館プロジェクト審査会を実施します。

興動館プロジェクト（注1）が正式に活動を開始するためには、まず審査を受けて、認定を受ける必要があります。プロジェクトの任期は1年のため、新規だけでなく継続の場合も同様です。そのため、学生たちは審査会に向けて準備をし、プロジェクトごとにメンバー全員が揃って審査会に臨みます。今年は17のプロジェクトが申請。学生たちは学生発案のアイデアを活かした活動内容や目的、年間計画について、1プロジェクト5名の審査員に対し、プレゼンテーションを行います。本会の審査員は本学教職員で構成され、事前に提出されている申請書をもとに質疑を重ね審査。認定を受けたプロジェクトは、6月1日に開催のプロジェクト認定式に参加することになります。

つきましては、下記のとおり審査会の日程と各プロジェクトの活動内容をお知らせいたしますので、ぜひ取材していただきますよう、よろしくお願いいたします。

（注1）「国際交流」「社会貢献」「地域活性」「経済活動」などに関わるプロジェクト活動の、準備・実行はもちろん、企画、交渉、予算管理、報告・発表などの全般について、学生が主体的に取り組んでいる。多様な人間とともに何かを達成する過程の中で、実社会に必要な人間力を養い、「ゼロから立ち上げる」興動人\*として活躍する人材を育成するのが目的。

\*興動人とは…既存概念にとらわれない斬新な発想と旺盛なチャレンジ精神、そして仲間と協働して何かを成し遂げることできる力を備えた人材

### 記

場 所：広島経済大学 興動館（広島市安佐南区祇園五丁目1番27号）

日 時：5月9日（水）、11日（金） いずれも 17：00～19：00

5月9日（水）	5月11日（金）
インドネシア国際貢献プロジェクト	子ども達を守ろうプロジェクト
武田山まちづくりプロジェクト	カフェ運営プロジェクト
カンボジア国際交流プロジェクト	動物のかけがえのない命を守ろうプロジェクト
スポーツによる地域活性化プロジェクト	中高生の笑顔・夢実現!!プロジェクト
コミュニティFM放送局運営プロジェクト	宮島の魅力を発信したい学生プロジェクト
太田川キレイキレイプロジェクト	若旅促進プロジェクト
学生FDプロジェクト	食育推進プロジェクト
広島ハワイ文化交流プロジェクト	東北支援プロジェクト
広島平和発信プロジェクト	

プロジェクト概要：

#### ・インドネシア国際貢献プロジェクト

インドネシアの貧困地域であるグヌンキドゥルの村で生産される伝統的な布「テヌンルーリック」を使用したオリジナル商品を作り、日本で販売活動を行うことで生産者に対してフェアトレードを行うことや、現地で祭りを開催して日本や本プロジェクトのことを紹介している。

「フェアトレードを通じてナーウエン（貧困地区）の人たちの生活を向上させる」をミッションに、グヌンキドゥル地方ナーウエン県の伝統工芸品である「テヌンゲンドウン」という布を使用したオリジナル商品を開発し、日本で販売を行う。将来的にはフェアトレードを通じたビジネスモデルを確立し、インドネシアのその他の地域にも広めることによって、貧困問題の解決を目指す。

#### ・子ども達を守ろうプロジェクト

近隣の小学校で年間約 230 日間ガードボランティアを行っているほか、小学校での地域安全マップ作成の事前学習を学生たちが出前授業するなど、行政、地域の方々と連携し、子ども達が安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいる。

※ガードボランティア…不審者から子ども達を守るため、学生が校内を見回り、休み時間に校庭で子ども達と遊ぶ活動

#### ・武田山まちづくりプロジェクト

本学の裏側にそびえ、地域のシンボルでもある武田山の自然を守り、地域の憩いの場「たけだの里」を創造したり、様々なイベントを行ったりするなど、地域の方々や他大学の学生などと協力をしながらまちづくりに参画していく。

#### ・カフェ運営プロジェクト

「カスタマーファースト～地域とともに～」を経営理念に掲げ、興動館 1 階にある一般の方も利用できる HUE café「Time」を学生だけで運営している。「安心・安全」「愛されるカフェ」「More Communication cafe」といった目標を据え、商品・接客・空間などにおいて安心で安全なサービス、学生ならではのアイデアメニューなどを提供している。

営業時間：平日 12:00～17:00

#### ・カンボジア国際交流プロジェクト

ポル・ポト派の大量虐殺により、多くの教員、知識人を失ったカンボジア王国では、現在でも教員や教科書などの不足といった問題を抱えている。こういった教育問題に着目し、戦後の日本、広島の復興のプロセスを記した副読本を制作し、現地で配付することで、カンボジアの未来を担う子ども達に夢や希望を持ってもらい、広島・日本の過去を真似るのではなく、自分たちなりの復興の過程、未来のカンボジアの姿を考えてもらうため、活動を行っている。

#### ・スポーツによる地域活性化プロジェクト

スポーツ王国・広島に拠点を置くスポーツチームを盛り上げ、地域活性につなげることを目的に活動している。選手を招いた応援イベントや観戦会の企画運営をはじめ、トップス広島と連携し「トップスニュース」を隔月で発行しているほか、トップス広島公式 HP の運営も行っている。

#### ・コミュニティFM放送局運営プロジェクト

安佐南区などを放送地域とする FM ハムスター (79.0MHz) の運営を学生が中心となって行っている。学生が自主制作した番組放送はもちろん、放送地域の情報発信や、災害発生時には緊急放送を行うなど、コミュニティ FM としての責任を果たしながら、地域活性化を図っている。

#### ・太田川キレイキレイプロジェクト

太田川の河川敷を主な活動拠点として、他大学や地域の方とともに清掃を中心とした活動を行っている。また、小学生を対象にしたイベントを開催することで、太田川に対する知識や愛着を深めてもらう活動を行っている。

#### ・学生FDプロジェクト

学生が学ぶことの楽しさを体感できるような興動館科目※を創ることで、意欲的に授業に参加し、能動的に勉強する学生を増やすことを目的に活動。「スポーツで学ぶ共生力」という、全国初の学生が創った科目を立ち上げた。今後も、学ぶことの楽しさや充実感を感じるような新科目を、学生の声を聞きながら、教員とともに創造していく。

※興動館科目…実践を通して知識やスキルを身に付ける興動館科目は、すべての学生が自由に選択できる科目群で、卒業単位にも含まれる。学問領域ではなく、人間力を身に付けるために必要な「元気力」「企画力」「行動力」「共生力」で科目を分類している。

#### ・動物のかけがえのない命を守ろうプロジェクト

このプロジェクトは広島県の動物殺処分ゼロの維持を目指している。動物の命の尊さや大切さ、殺処分の現状と同時に野犬問題とその対処法について、紙芝居やパネル展示を通じて啓発活動を行っている。

#### ・中高生の笑顔・夢実現!!プロジェクト

学校へ足が遠のいている子ども達やフリースクールに通っている生徒と一緒に、クッキングやピクニック、キャンプなどを行い、イベントを通して自分自身を見つめ直す環境をつくり、夢や目標を持つことの大切さを一緒に学んでいる。これらの活動を通して、新しい一歩を踏み出せるような「きっかけ」を提供していく。

#### ・広島ハワイ文化交流プロジェクト

広島とハワイという歴史的なつながりを持つ2つの場所の文化交流を活性化させ、両地域の若者がローカルな条件を生かしつつ、グローバルな場で活躍できる「グローバル」な人間に

なるためのきっかけづくりをすることを目的に活動。ハワイで活躍する広島出身の日系人の活躍を日本で紹介するほか、現地の学生や高校生と積極的な交流を行うなどしている。

#### ・宮島の魅力を発信したい学生プロジェクト

日本有数の観光地「宮島」での取材活動や冊子の発行、イベントの企画を通して、地域の人々とともに宮島の魅力を世界に発信する活動をしている。NPO団体とともに写真展や、宮島の名所とグルメを中心に冊子を作成し、観光客の皆さんに配布。世界遺産「厳島神社」のほかにも隠れた魅力が数多くある宮島を、「学生目線」「若者目線」で発掘・発信し、若者を中心とした国内外の観光客に楽しんでもらうことを目的としている。

#### ・広島平和発信プロジェクト

広島に原爆が落とされてから73年が経過。平成28年度には広島平和祈念資料館の入館者数が170万人（前年比22.3%増）を越えるなど、平和に対する関心が高まっている。しかし、18歳までの若者の入館者数は過去5年間変わっていない。本プロジェクトでは、広島で起きた悲惨な現実を忘れ去られないように、若者に平和の意識を高めてもらう活動をしている。

#### ・若旅促進プロジェクト

旅には新しい経験や価値観を見出し、自分自身を成長させる魅力があるが、最近若者の旅離れが問題となっている。若者のニーズに合ったツアーを企画立案し、ツアーを通じて参加者の視野を広げ、豊かな人生を送ってもらうことを目的に活動している。

#### ・食育推進プロジェクト

アルバイトや夜型生活等の生活リズムの乱れによる朝食を取らない、料理を作らない、食べることに関心がない、等の食に関する重要性や関心が薄れている学生が増加傾向にある。そこで、大学生を対象にした食育推進活動を行い、意識の向上を図っている。

#### ・東北支援プロジェクト

東日本大震災で被災した方々に「笑顔」になってもらうこと、発生から7年が経過し、希薄になりつつある震災に対する意識を「風化」させないことなどを目的に、現地でのふれあい活動や、東北の方を広島に招いての講演会、広島の小学校において被災地を共に考える授業などの活動をしている。

以 上

---

※お問い合わせ、取材のご用向きは事前に以下までご一報くださいますよう、お願い申し上げます。

(記事の内容について) 興動館こうどうかんスタッフ

TEL (082) 832-5010

(取材の依頼について) 入試広報センター 平田・山本・住本・高田・藤永

TEL (082) 871-1313